



「空き家紹介します」

移住定住・空家総合窓口開設

6月18日、NPO法人総合ボランティア・サポートセンター(旧災害ボランティア・サポートセンター)は、市外からの移住希望者に空き家を紹介する事業や、市内の観光案内の拠点となる事務所を旧西武芸出張所に開設しました。

市が平成27年度に実施した空家等実態調査(空家トリアージ)の結果によると、市内には利活用が可能であると思われる空き家が、外観調査では約900軒あります。開所式で市長は、「市の魅力を発信する拠点。空き家対策や移住促進に結びつけた」とあいさつしました。

図 NPO法人総合ボランティア・サポートセンター Tel 52-3110



小中学生が堂々発表

少年の主張大会



6月19日、美山中央公民館で「山県市少年の主張大会」わたしの主張2016」が行われ、市内の小中学校の代表12人が家庭、学校、地域での人との関わりを通して感じたことなどを発表しました。選考の結果は次のとおりです。(敬省略)

【優秀賞】杉山奈央莉(高中)・服部澤花(美中)

【奨励賞】棚橋直子(伊南小)・長谷部華音(美小)・村瀬未有(大小)・室戸祐信(美中)・濱上巧翔(伊中)・佐々木大智(高中)・江川侑汰(美中)・西村実紗(伊中)・濱松千有里(高中)・早川琴音(伊中)

石崎しず子さん

100歳を迎える



7月5日、石崎しず子さんが100歳の誕生日を迎えました。
石崎さんのご主人は表具店を営み、石崎さんは4人の子どもを育てながらさまざまな仕事をしました。平成15年ごろから通いはじめたデイサービスでは、外出で喫茶店に行くのが楽しみとのこと。
健康の秘けつは「のんびり暮らすこと、食べ物の好き嫌いをしないこと」といい、同居する家族と同じものを食べて元気に過ごしています。

長野てつよさん

100歳を迎える



6月22日、長野てつよさんが100歳の誕生日を迎えました。
長野さんは、ご主人とともに6人の子どもを育てながら、17年間、水栓製造の会社勤務、その後10年ほど縫製のまとめの仕事をしていました。
健康の秘けつは「よく働き、よく動くこと、そして野菜を食べること」のことです。
長野さんは、92歳まで畑や家の周りの草引きなどをしていましたが、現在は、特別養護老人ホームに入所しています。

武山光子さん

100歳を迎える



6月15日、武山光子さんが100歳の誕生日を迎えました。
武山さんのご主人は、昭和20年に戦死されました。当時29歳の武山さんは、その後一人で3人の子どもを育てました。
85歳ごろまで続けたゲートボールや、畑仕事に興味で、健康の秘けつは「畑仕事すること、食べ物の好き嫌いはしないこと」のことです。
現在は、特別養護老人ホームに入所しています。

ナツチヨルくんと 仲良くなるう 伊自良南小

6月21日、市観光親善大使のナツチヨルくんが伊自良南小学校を訪れ、3年生12人と交流しました。

伊自良南小学校では、総合的な学習で地域について調べる活動をしており、マンホールに描かれたナツチヨルくんに関心を持ったことから、ナツチヨルくんに質問したり触れ合ったりする今回の交流行事を行いました。

児童たちは、名前の由来などの質問を行ったり、○×ゲームと一緒に楽しんだりした後、ダンスを披露。行事の終盤にはナツチヨルくんに抱きついたりするなど、すっかり仲良しになっていました。



富波保育園 鮎のつかみ取り体験

鮎のつかみ取り体験



6月22日、青波の美山観光やなどで、富波保育園の年長、年中の園児15人が鮎のつかみ取りを体験しました。

この体験は、同やなが、今シーズンのオープンを前に無料招待したもので、恒例行事となっています。園児たちは、特設プール内を素早く泳ぐ鮎を必死で追いかけて、捕まえると歓声を上げました。つかみ取りの体験の後には、やなの従業員から食べ方を教えてもらいながら、鮎の塩焼きと鮎雑炊を、おいしそうに食べていました。

官学連携で地域振興を 岐阜大学と包括協定



7月1日、市と岐阜大学が、市の課題解決や地域についての研究、人材の育成など包括的な連携を図っていくための協定を結びました。

締結式では、市長と森脇久隆岐阜大学長が協定書を取り交わし、市長は「職員が課題に取り組むとき、大学の知見をいただきながら進めていきたい」、森脇学長は「地域活性の拠点として、また地域に資する人材育成を図るため、市の課題解決などに協力していきたい」と、それぞれが今後の連携について期待を込めて語りました。

青年海外協力隊員 山崎さん ラオスへ



6月21日、JICA（国際協力機構）の青年海外協力隊員として、6月末にラオスへ派遣される、山崎千尋さんが市長を表敬訪問しました。

山崎さんは、大学院で肥料の使用量を減らして農作物の収量を増やす方法などを研究して、今年の3月に卒業。ラオスへの派遣に向けた研修を受けていました。

ラオスでは、北部のルアンパバーン県の農林短期大学に2年間赴任します。山崎さんは、「学んだ知識を生かし、現地の農業問題の改善に向け貢献していきたい」と語りました。

レクリエーション大会PR ミナレクキャラバン隊



6月12日、市レクリエーションフェスティバル100日前イベントが、市総合体育館で行われました。

これは、ミナレクキャラバン隊による「全国レクリエーション大会in岐阜」のPRイベントで、市長によるレクリエーション推進宣言の後、来場者によるミナモ体操やバルーン・パスなどのレクリエーションが行われました。続いて、市レクリエーションフェスティバルを開催し、参加者はスポーツ吹矢や卓球バレーなどを楽しみました。



音楽に合わせて歌って踊って 大桜保育園でアウトリーチ

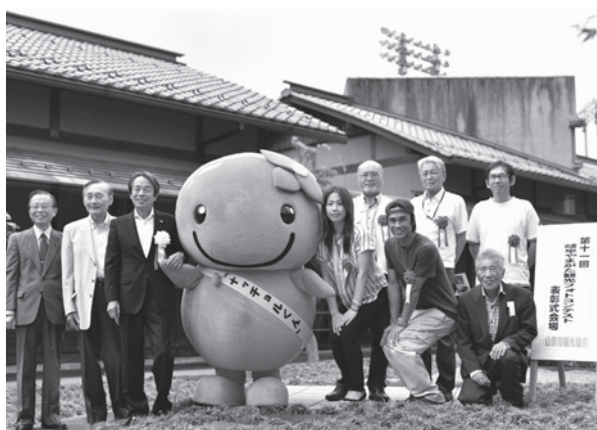
6月22日、大桜保育園で「平成28年度芸術の宝箱」保育園アウトリーチ事業が行われ、園児36人がプロの演奏を楽しみました。

この事業は、芸術家が学校などに訪問して子どもたちが生の演奏を体感し、心の育成を図るために花咲きホールが実施しているものです。

今回の事業では、フルート奏者の永井由比さん、チェロ奏者の井尻兼人さん、ギターの斎藤惟吹さんがクラシック音楽やアニメ音楽を披露し、楽器の特徴などを説明しました。園児たちは、演奏に合わせて手拍子をしなが歌い、音を体で感じ楽しんでいました。



山県の四季を写真で紹介 観光フォトコンテスト表彰式



7月2日、市観光協会が主催する第11回岐阜やまがた観光フォトコンテストの表彰式が、古田紹欽記念館で行われました。

このコンテストは「来て、見て、岐阜やまがた」の四季をテーマに写真を募集し、19人43作品の応募がありました。表彰式では、グランプリに輝いた井上良美さんをはじめ8人を表彰。実行委員長の岡山義統さんは講評で「山県にはさまざまな美しい景色があるので、今後も撮影しながら観光を楽しんでほしい」と話しました。

地域ぐるみで 青少年の健全育成を

青少年の健全育成を

7月3日、青少年の非行・被害防止全国強調月間にあわせて、市内3カ所の店舗で各小学校区青少年育成市民会議会長や市青少年育成推進員、山県高校MSリーダーズの生徒などが啓発活動を行いました。

啓発では、「地域の子どもは地域で守り育てる」標語入り小型ライトや、「未成年者喫煙防止」標語入りポケットティッシュなどを配り、地域ぐるみで青少年の健全育成を進めるよう呼びかけました。



七夕に交通安全の願いを込めて 市役所に七夕飾りを設置



7月6日、市交通安全女性連絡協議会が交通安全の願いを込めた七夕飾りを市役所や山県警察署など市内の公共施設5カ所に設置しました。

この七夕飾りには、7月11日から20日まで実施される夏の交通安全県民運動の前に、市内の小学校4、6年生約700人の交通安全に関する願いが書かれています。同協議会員の皆さんが飾り付けを行ったもので、市役所ロビーにも飾られました。

着衣水泳で命を守る！

基本的にヒトの体は水に浮くようになっています。服を着て靴をはいている状態ではさらに浮きやすくなっています。

焦りやパニックにより、速く泳ごうとすればするほど、腕や足などの疲労を早めてしまう結果となります。

そこで…

1 浮いて待て！

水難事故から身を守るために浮いて待ちましょう。無理して泳ぐ必要はありません。自力で長時間浮いて待つことができれば、助けがきます。

2 呼吸しながら浮いて待て！

無駄な動作をすることなく、いつまでも仰向けの姿勢を維持することで、体力の消耗が少なくなります。

3 服も靴も脱がない！

服も靴も脱ぐのは難しく、脱ごうとすると時間がかかり、服は脱ぐと寒くなります。服も靴も脱がずに浮き身や平泳ぎで対応することが望ましいです。

このように、呼吸を確保し救助されるまで
浮き続ければ、必ず救助されます。

地上デジタル放送
12chの
チャンネルCCN

毎日1回15分間放送

毎週月曜日	19:00～19:15
毎週火曜日	18:15～18:30
毎週水曜日	12:00～12:15
毎週木曜日	20:30～20:45
毎週金曜日	12:30～12:45
毎週土曜日	11:15～11:30
毎週日曜日	9:45～10:00

地上デジタル放送
11chの
チャンネルCCN

毎日1回15分間放送
8:30～8:45

なお、上記スケジュールは予告なく変更される場合があります。

山 県 市 広 報 番 組

閩企画財政課 Tel22-6825

今月の放送内容はこちら。

- 「移住定住補助金、子育て・結婚支援施策」を紹介します。
- 「元気もりもり！やまがたっ子」では、「いわ桜小学校」を紹介します。



画像提供：CCN



リポーターの
伊藤由美子です。